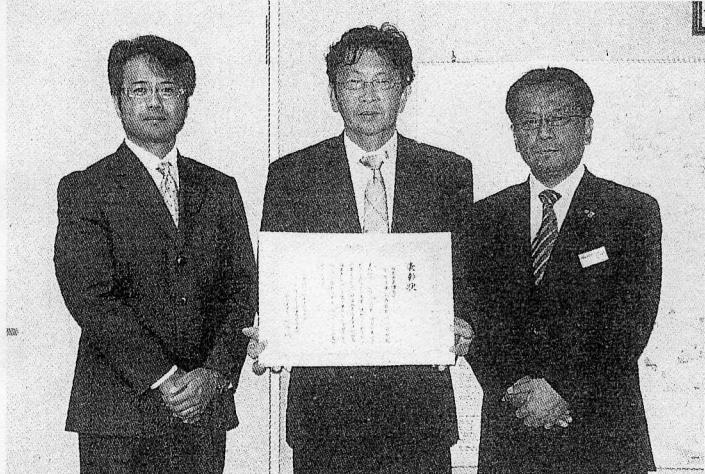


# 西袋二小のホームページが県代表に

## 県内251校で最高評価

須賀川市西袋二小（吾妻教長）が運営する同小学校ホームページは、全国小学生ホームページコンペティションで県内251校中最高評価を受けた。県代表としてJ-KIDS大賞実行委員会の主催による表彰式が開催された。



県代表の西袋二小の吾妻校長（中）と兼子教務主任（左）

表校の受賞伝達は30日、同校校長室で行われた。損保ジャパン福島支店の村木正太支店長が賞状を伝達。同小は2

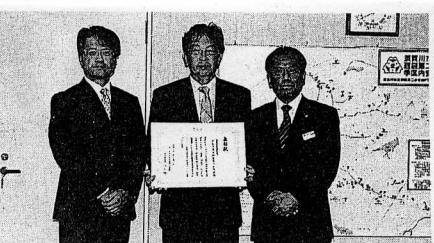
年連続全国大会進出を決めた。過去3年連続県優秀賞を受賞している。

科学省・総務省・経産業省・NHKなどの後援。事務局が損害保険ジャパン。

同小のホームページは平成15年から開設され、2年目から内容が充実。從来のHPを保護者と共に再検討し、校の特色である「花いっぱいのきれいな学校・子どもたちが生き生きと学ぶ学校」のイメージに合わせて、発信する情報を厳選し、トップページも1画面で見る事ができ、配色にもこだわったHPを作成している。

受賞理由として、行事や日々の学校生活の様子を伝えることにより、高い更新頻度で情報発信している。

## 西袋二小、全日本小学校HP大賞に進出



西袋二小（吾妻教長）はホームページコンペティションで県内251校中最高評価を受けた。県代表としてJ-KIDS大賞実行委員会の主催による表彰式が開催された。

マエタムス社

パンの木村正太福島支店長から吾妻校長へ贈られた。表彰状は手渡されると喜びを語っている。

吾妻校長は「学校・地域・保護者が一体となって積極的に伝え、健全に育つ環境を高く評価されたと思います」と喜びを語っている。

写真などは兼子豊志教務主任、ブログは吾妻校長が担当している。写真などは兼子豊志教務主任、ブログは吾妻校長が担当している。

吾妻校長は「学校・地域・保護者が一体となって積極的に伝え、健全に育つ環境を高く評価されたと思います」と喜びを語っている。

情報開示の活性化で地域社会の連携促進と未来を担う小学生の情報能力の育成などを目標とした。ホームページを対象にしたコンテストで、インターネット上に公開されている小学校ホームページを可能な限り探し出し選考が行われている。

今年は全国一万九千校、県内二百五十一校を審査。同校のホームページは行事や日々の学校生活の様子を伝え、更新頻度も高く生き生きとした子どもの表情をとらえ楽しめるとして受賞

パンの木村正太福島支店長から吾妻校長へ贈られた。表彰状は手渡されると喜びを語っている。

吾妻校長は「学校・地域・保護者が一体となって積極的に伝え、健全に育つ環境を高く評価されたと思います」と喜びを語っている。

情報開示の活性化で地域社会の連携促進と未来を担う小学生の情報能力の育成などを目標とした。ホームページを対象にしたコンテストで、インターネット上に公開されている小学校ホームページを可能な限り探し出し選考が行われている。